

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2010年第49週  
(12月6日～12月12日)

\* 2010年12月15日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成22(2010)年12月16日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

# 全数把握対象疾患 報告数 2010年49週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		46週	47週	48週	49週	年累計	49週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							2
	結核	76	67	68	58	3,921	312	24,506
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					2		11
	細菌性赤痢	2		3	1	84	4	225
	腸管出血性大腸菌感染症	3	3	2	3	335	28	4,063
	腸チフス	1				12		30
	パラチフス					5		21
四類	E型肝炎					8		59
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1			45	1	334
	エキノコックス症					1		11
	黄熱							
	オウム病							10
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサナル森林病							
	Q熱							2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症	1				1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病		5		1	11	40	308
	デング熱			3		68	2	236
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1		119
	日本脳炎							4
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア	2				28	1	71
野兎病								
ライム病					1		12	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		3	
レジオネラ症	3	2			53	11	695	
レプトスピラ症					2		22	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		46週	47週	48週	49週	年累計	49週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3		3	7	167	10	787
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		1	1	2	46	2	203
	急性脳炎 *2					14	3	221
	クリプトスポリジウム症					3		16
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1	14	1	154
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1		19	2	119
	後天性免疫不全症候群	7	5	6	14	473	20	1,409
	ジアルジア症					13		78
	髄膜炎菌性髄膜炎							7
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	4	1	5	163	5	574
	破傷風					5		98
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	1		15	3	109
	風しん			1		12	2	83
麻しん	1	1	1	3	72	7	434	
新型※	新型インフルエンザ *3	—	—	—	—	—	—	—
2010/12/15集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※ 新型インフルエンザ等感染症

\*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 58件** 肺結核36件、その他の結核22件で、推定感染地は国内56件、インドネシア2件、年齢は5歳未満1件、20歳代8件、30歳代8件、40歳代7件、50歳代10件、60歳代7件、70歳代9件、80歳代6件、90歳以上2件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 1件** 菌種はソネ。推定感染地はエジプト・トルコ・ギリシャで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 3件** 患者1件、無症状病原体保有者2件。血清型・毒素型はO157(VT2)2件、O111(VT1)1件で、年齢は20歳代1件、30歳代1件、60歳代1件であった。

#### 〈四類感染症〉

**つつが虫病 1件** 推定感染地は山梨県であった。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 7件** 腸管アメーバ症5件、腸管外アメーバ症2件。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は性的接触3件(同性間1件、異性間1件、性別不明1件)、その他4件であった。

**ウイルス性肝炎 2件** B型1件、C型1件。どちらも推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間1件、異性間1件)であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 古典型CJDで、年齢は70歳代であった。

**後天性免疫不全症候群 14件** 無症候キャリア10件、AIDS3件、その他1件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代4件、30歳代3件、40歳代3件、50歳代1件、AIDS患者の年齢は50歳代3件である。推定感染地は国内10件、サイパン1件、不明3件、推定感染経路は性的接触12件(同性間11件、異性間1件)、不明2件であった。

**梅毒 5件** 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件、無症候1件。全て推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間4件、性別不明1件)であった。

**麻しん 3件** 麻しん(検査診断例)2件、修飾麻しん(検査診断例)1件。年齢は10歳代1件、20歳代2件で、麻しん含有ワクチン接種歴は無し1件、2回1件、不明1件であった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2010年49週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		46週	47週	48週	49週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	39	75	94	108	0.72	150	150
	咽頭結膜熱	39	54	84	89	0.59		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	294	275	352	385	2.57		
	感染性胃腸炎	1,899	2,003	2,652	2,902	19.35		
	水痘	141	199	236	251	1.67		
	手足口病	34	27	25	19	0.13		
	伝染性紅斑	48	84	82	102	0.68		
	突発性発しん	73	83	88	81	0.54		
	百日咳	2	0	3	1	0.01		
	ヘルパンギーナ	11	11	6	15	0.10		
	流行性耳下腺炎	71	59	71	56	0.37		
	不明発しん症(注1)	16	9	10	9	0.06		
MCLS(川崎病)(注1)	3	1	1	3	0.02			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	143	172	219	301	1.04	289	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	5	1	1	0.03	38	39
	流行性角結膜炎	26	26	27	37	0.97		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	1	0	0	0.00	23	25
	無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	20	17	16	14	0.61		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	2	1	1	0.04		
2010/12/15集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続して増加した。感染症法施行(1999年)以来、同時期としては最も多い。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は8週連続して増加した。現在は警報が出ている状況であり、注意が必要である。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は6週連続して増加し、流行開始の目安となる1人/定点を超えた。感染症法施行(1999年)以来、3番目に早い流行の開始であり、注意が必要である。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減した。しかし過去5年平均の同時期と比較して多い。

### (定点医療機関からのコメント)

中野区保健所管内定点医療機関

- ・流行性角結膜炎:発熱を伴い咽頭結膜熱と判別しにくい「アデノウイルス結膜炎」の親子の受診あり。既に咽頭結膜熱の診断を受けたもので、結膜炎症状が強く受診する例も最近増加している。
- 板橋区保健所管内定点医療機関
- ・感染性胃腸炎:成人1名、ノロウイルス陽性
  - ・感染性胃腸炎:カンピロバクターによる胃腸炎

※ インフルエンザに関するコメントは13頁にまとめて記載しました。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年49週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	9		1	27	5			3		
～11か月	25	1		137	9	2	1	30		1
1歳	34	14	9	364	32	4	2	43		2
2歳	22	17	22	308	27	4	5	4		2
3歳	8	14	23	305	33	3	7			2
4歳	7	14	66	307	40	1	15			
5歳	3	13	43	253	41	1	20			1
6歳		6	57	217	23	1	13	1		1
7歳		2	53	160	10	1	12			
8歳		2	27	145	7		11			1
9歳			32	105	6	1	9			1
10～14歳		1	29	240	13		5			1
15～19歳			2	52	1					
20～29歳		5	21	282	4	1	2		1	3
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	108	89	385	2902	251	19	102	81	1	15
先週比	14	5	33	250	15	-6	20	-7	-2	9

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2		1		
～11か月		3	1	5		1
1歳	3			6		1
2歳	5	1		12		2
3歳	7			13		1
4歳	5	1	1	21	1	1
5歳	8	1		23		3
6歳	6			24		
7歳	6			19		
8歳	5			16		1
9歳	2			11		1
10～14歳	8	1	1	47		1
15～19歳				16		3
20～29歳	1			24		1
30～39歳				33		14
40～49歳				18		3
50～59歳				5		
60～69歳				4		2
70～79歳						2
80歳以上				3		
合計	56	9	3	301	1	37
先週比	-15	-1	2	82		10

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年49週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		1
15～19歳		
20～29歳		2
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	3

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年49週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	1		1	30	2		1	1		
中央区				35	3		5	3		
みなと	6	6	12	79	23		2	4		
新宿区	8	4	7	58	2		2	2		
文京		3	2	44	4		1			
台東	9	7	2	77	5		3	1		
墨田区	1	1	3	32	4		4	1		
江東区			16	181	8			4		
品川区		2	11	80	4	1	2	3		
目黒区		3		26	2	2		1		
大田区	5	6	22	163	14	7	6	2	1	3
世田谷	2		8	181	4		12			
渋谷区	1		1	62	2	1		1		1
中野区	1	2	21	105	2		3	1		1
杉並	5	4	4	84	2		2	1		
池袋	4		2	50	2					
北区	3	2	2	111	2		6	3		
荒川区	2	7	8	44	8		3	3		
板橋区			8	43	2		4	3		
練馬区	4	2	23	122	7		3	1		1
足立		11	28	135	8	1	1	2		
葛飾区	1	1	6	109	1		2	5		
江戸川	2	7	59	132	6		14	7		
八王子市	16	2	34	217	44	3	8	2		2
西多摩	5		4	102	15			2		
南多摩	3	2	13	77	2	1		4		6
町田	4		36	188	16			5		1
多摩立川		1	2	62	11		1	1		
多摩府中	5	4	17	135	12	1	7	6		
多摩小平	20	12	33	138	31	2	10	12		
島しょ					3					

東京都合計	108	89	385	2,902	251	19	102	81	1	15
-------	-----	----	-----	-------	-----	----	-----	----	---	----

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年49週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			1	5		
中央区				1		1
みなと	7			6		
新宿区	2	1		2		2
文京	1			2		2
台東				11		
墨田区				7		
江東区		1		4		1
品川区				42		
目黒区				6		1
大田区	1	2		18		1
世田谷	8			9		1
渋谷区				2		
中野区	1			7		5
杉並	2		1	13		1
池袋	2			10		2
北区	1	1		16		
荒川区	1			14		1
板橋区	1			6		
練馬区	1	1		7		3
足立				5	1	5
葛飾区	1	1		6		
江戸川	1		1	9		1
八王子市	5			14		3
西多摩		2		21		
南多摩	2			6		
町田	8			7		
多摩立川	2			11		2
多摩府中	4			14		
多摩小平	4			18		5
島しょ	1			2		

東京都合計	56	9	3	301	1	37
-------	----	---	---	-----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		1
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		1
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		1
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	0	3
-------	---	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年49週

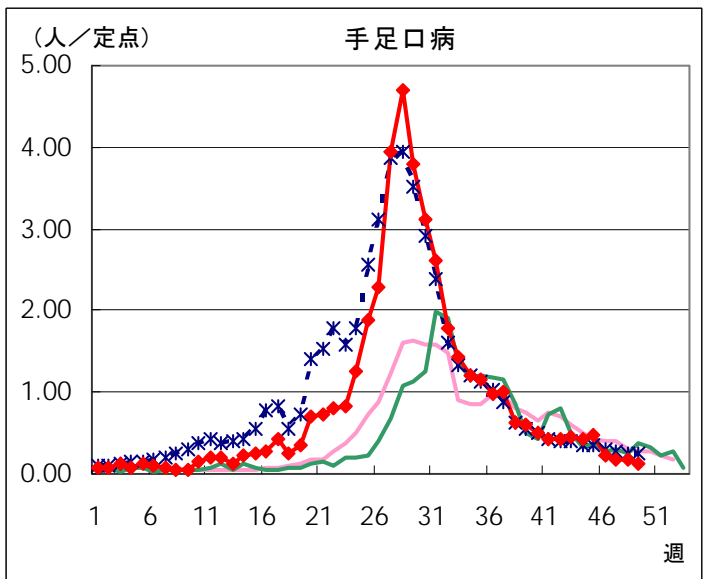
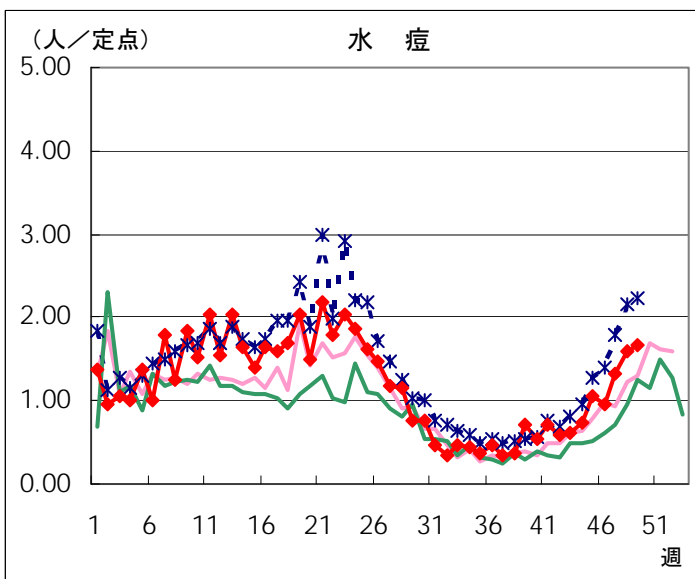
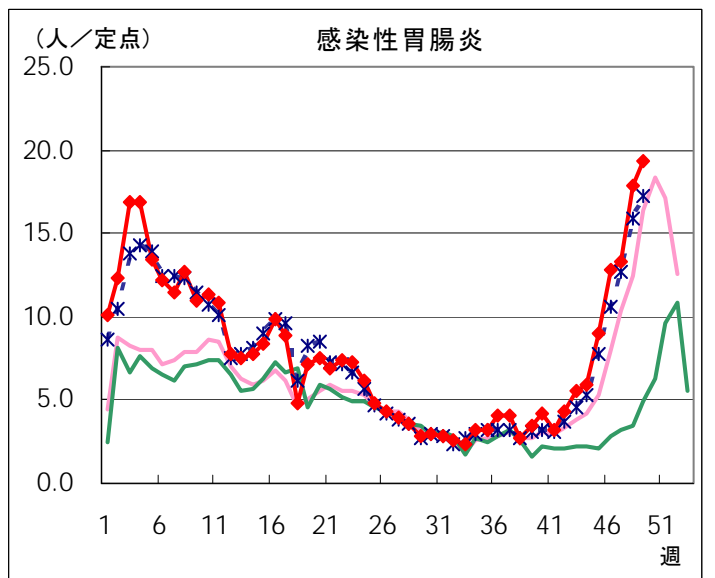
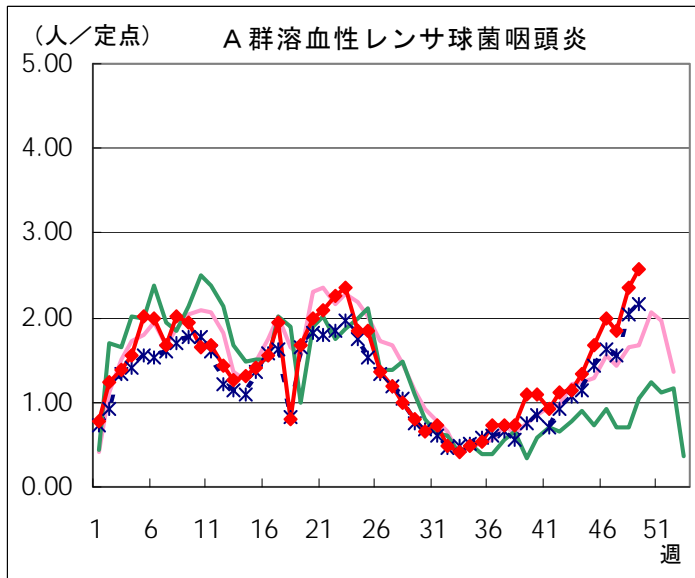
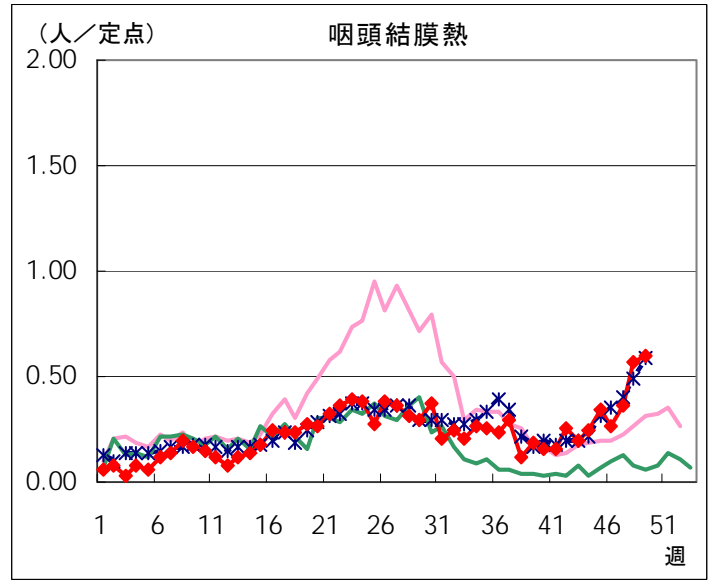
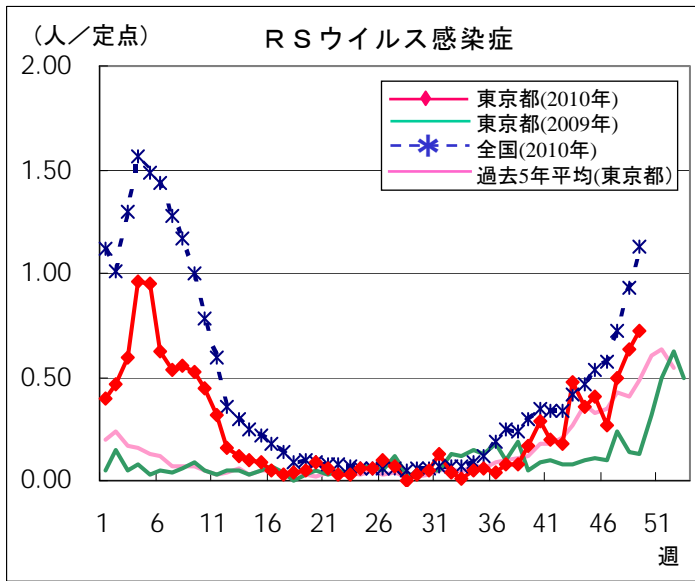
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.33		0.33	10.00	0.67		0.33	0.33		
中央区				11.67	1.00		1.67	1.00		
みなと	1.00	1.00	2.00	13.17	3.83		0.33	0.67		
新宿区	1.33	0.67	1.17	9.67	0.33		0.33	0.33		
文京		1.00	0.67	14.67	1.33		0.33			
台東	3.00	2.33	0.67	25.67	1.67		1.00	0.33		
墨田区	0.33	0.33	1.00	10.67	1.33		1.33	0.33		
江東区			4.00	45.25	2.00			1.00		
品川区		0.33	1.83	13.33	0.67	0.17	0.33	0.50		
目黒区		1.00		8.67	0.67	0.67		0.33		
大田区	0.56	0.67	2.44	18.11	1.56	0.78	0.67	0.22	0.11	0.33
世田谷	0.25		1.00	22.63	0.50		1.50			
渋谷区	0.25		0.25	15.50	0.50	0.25		0.25		0.25
中野区	0.17	0.33	3.50	17.50	0.33		0.50	0.17		0.17
杉並	0.83	0.67	0.67	14.00	0.33		0.33	0.17		
池袋	0.80		0.40	10.00	0.40					
北区	0.75	0.50	0.50	27.75	0.50		1.50	0.75		
荒川区	1.00	3.50	4.00	22.00	4.00		1.50	1.50		
板橋区			1.33	7.17	0.33		0.67	0.50		
練馬区	0.67	0.33	3.83	20.33	1.17		0.50	0.17		0.17
足立		2.20	5.60	27.00	1.60	0.20	0.20	0.40		
葛飾区	0.25	0.25	1.50	27.25	0.25		0.50	1.25		
江戸川	0.40	1.40	11.80	26.40	1.20		2.80	1.40		
八王子市	4.00	0.50	8.50	54.25	11.00	0.75	2.00	0.50		0.50
西多摩	1.00		0.80	20.40	3.00			0.40		
南多摩	0.75	0.50	3.25	19.25	0.50	0.25		1.00		1.50
町田	1.00		9.00	47.00	4.00			1.25		0.25
多摩立川		0.17	0.33	10.33	1.83		0.17	0.17		
多摩府中	0.50	0.40	1.70	13.50	1.20	0.10	0.70	0.60		
多摩小平	3.33	2.00	5.50	23.00	5.17	0.33	1.67	2.00		
島しょ					3.00					
東京都	0.72	0.59	2.57	19.35	1.67	0.13	0.68	0.54	0.01	0.10

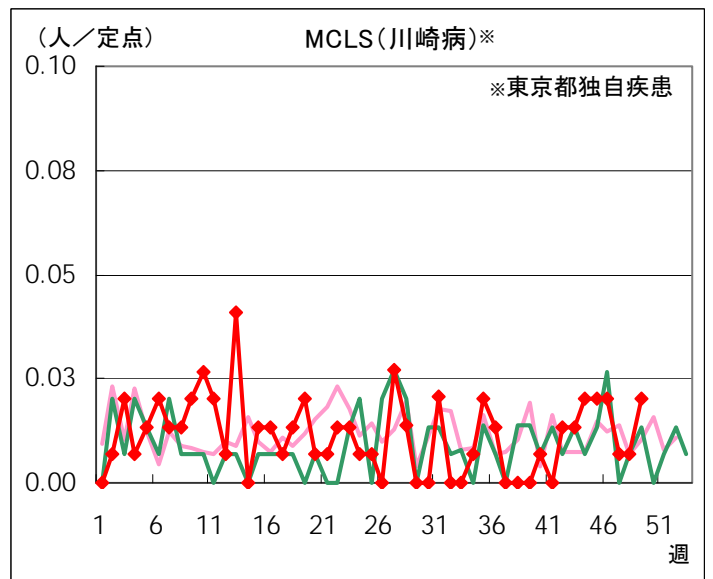
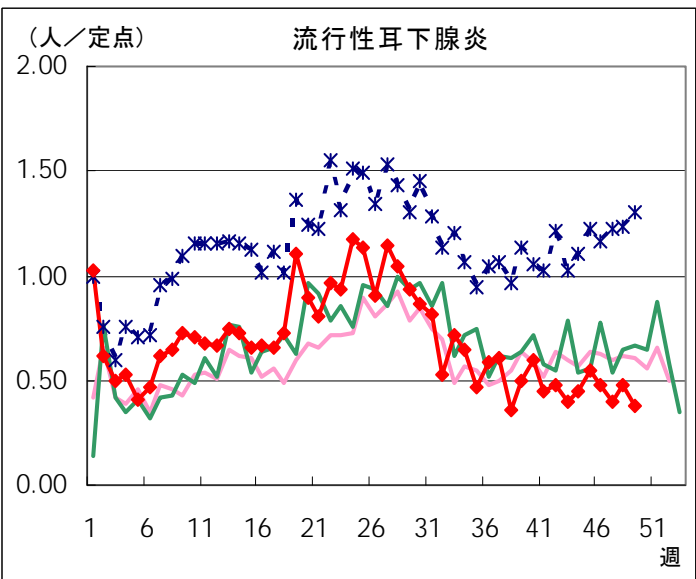
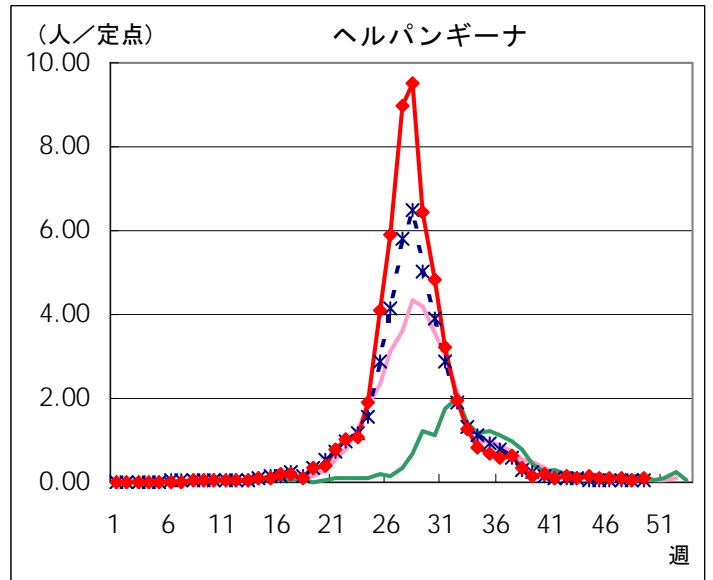
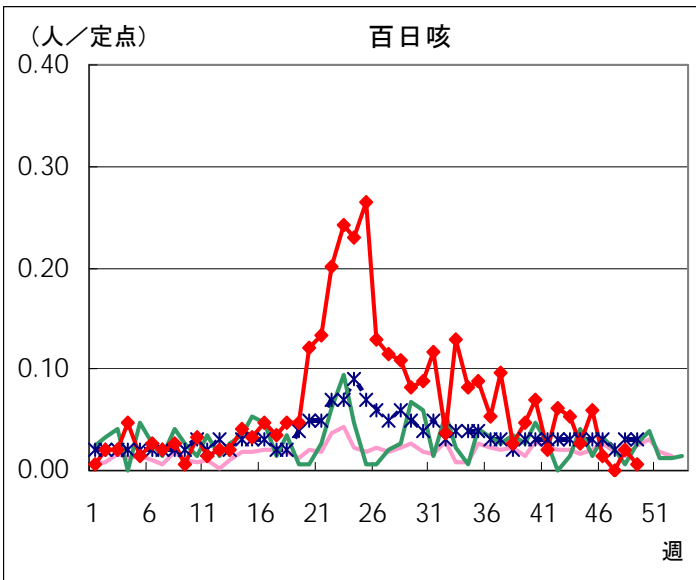
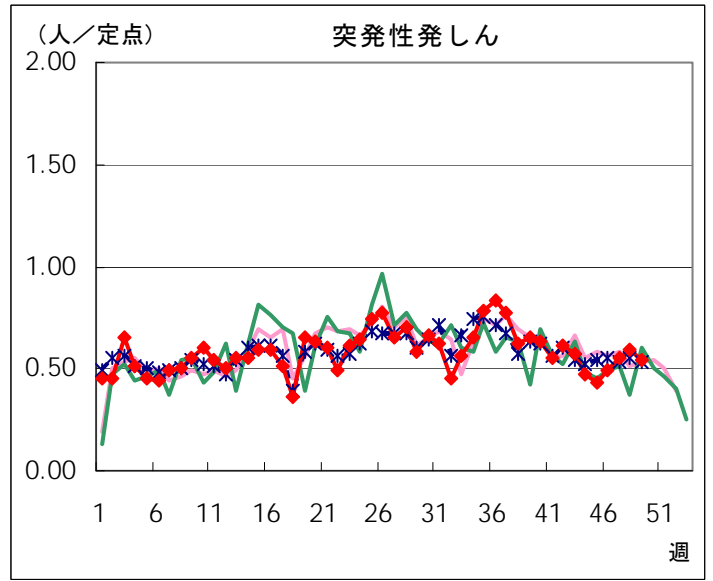
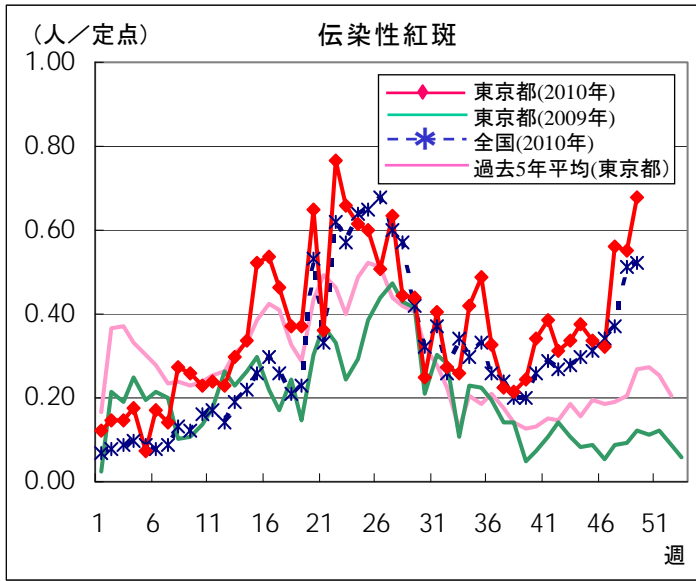


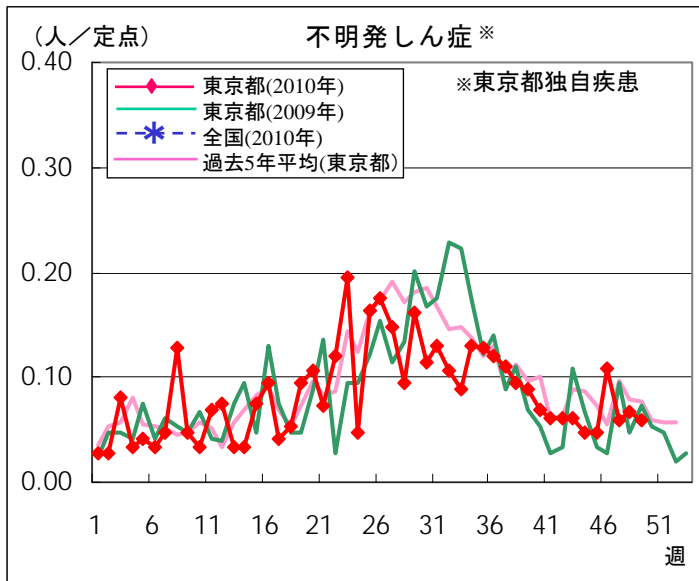
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			0.33	1.25		
中央区				0.25		1.00
みなと	1.17			0.75		
新宿区	0.33	0.17		0.22		1.00
文京	0.33			0.40		2.00
台東				2.20		
墨田区				1.17		
江東区		0.25		0.44		1.00
品川区				4.20		
目黒区				1.00		1.00
大田区	0.11	0.22		1.13		0.50
世田谷	1.00			0.56		0.50
渋谷区				0.33		
中野区	0.17			0.78		5.00
杉並	0.33		0.17	1.08		1.00
池袋	0.40			1.25		
北区	0.25	0.25		2.29		
荒川区	0.50			3.50		1.00
板橋区	0.17			0.50		
練馬区	0.17	0.17		0.54		1.50
足立				0.42	0.50	2.50
葛飾区	0.25	0.25		0.67		
江戸川	0.20		0.20	0.75		0.50
八王子市	1.25			1.40		1.50
西多摩		0.40		2.33		
南多摩	0.50			0.67		
町田	2.00			0.78		
多摩立川	0.33			0.85		1.00
多摩府中	0.40			0.67		
多摩小平	0.67			1.29		2.50
島しょ	1.00			1.00		
東京都	0.37	0.06	0.02	1.04	0.03	0.97

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年49週現在

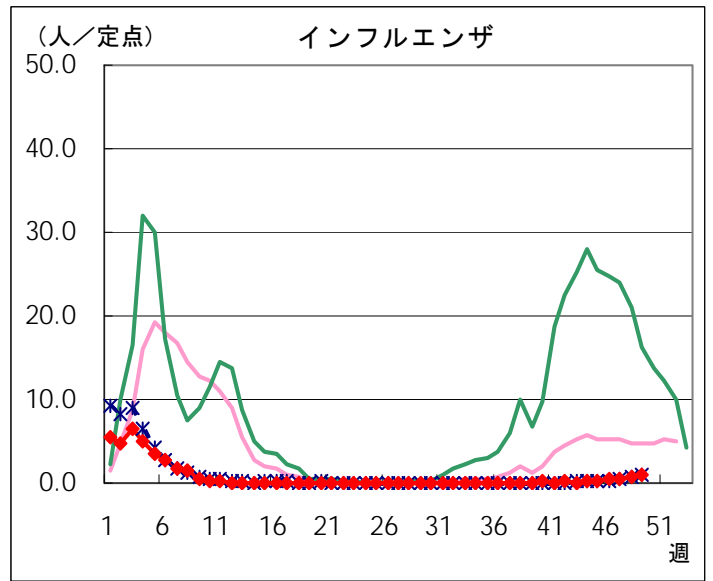
## ◆ 小児科定点



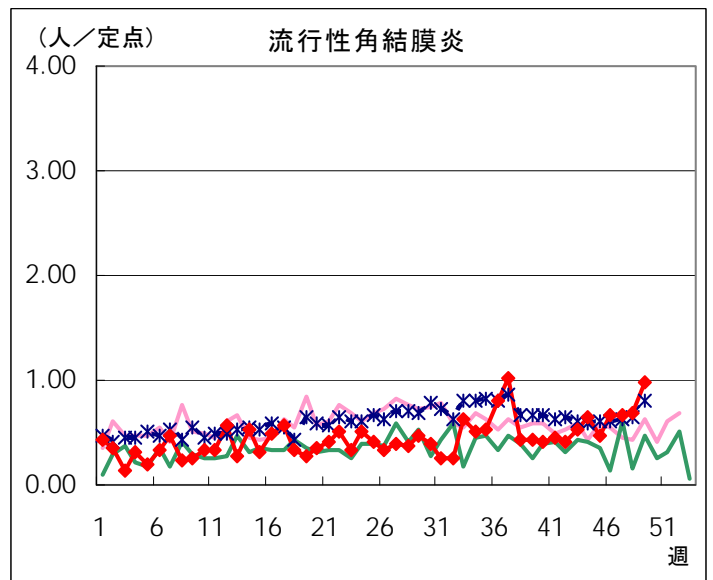
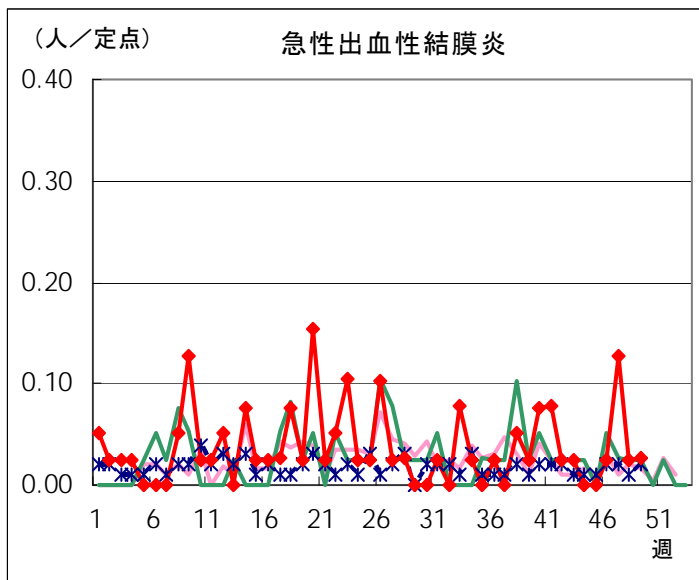




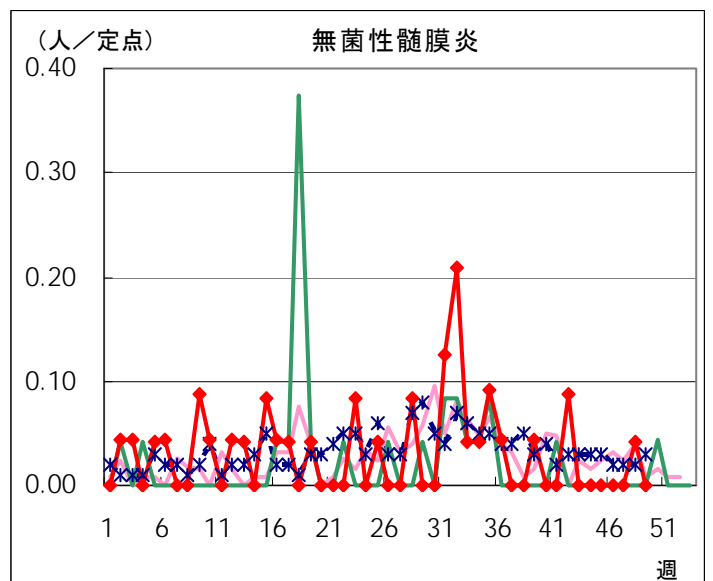
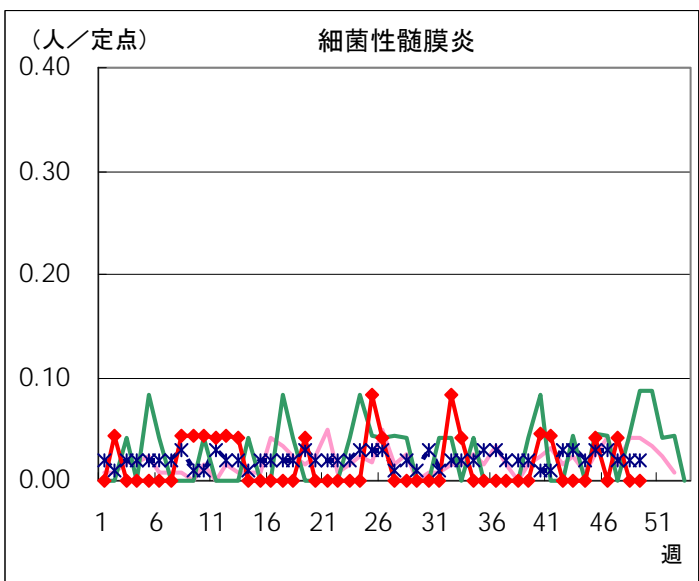
◆ インフルエンザ定点

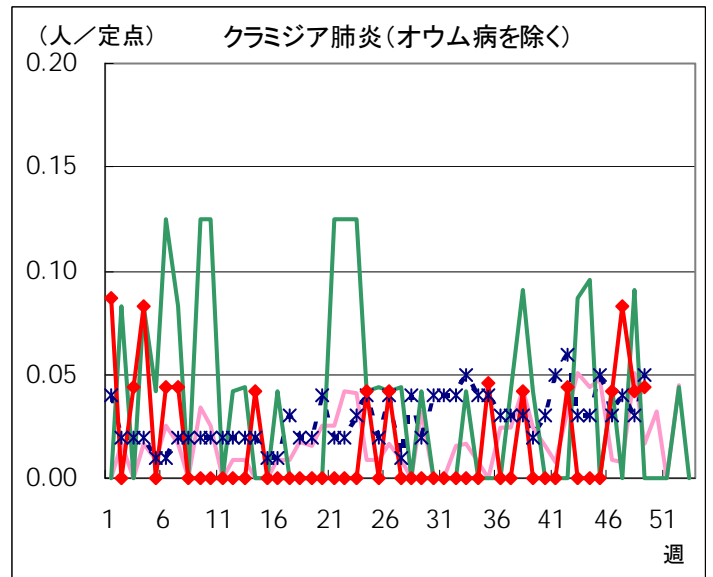
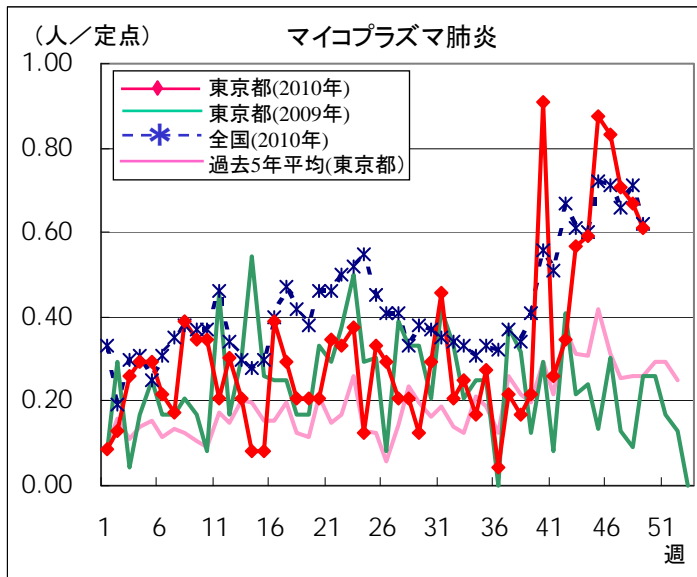


◆ 眼科定点

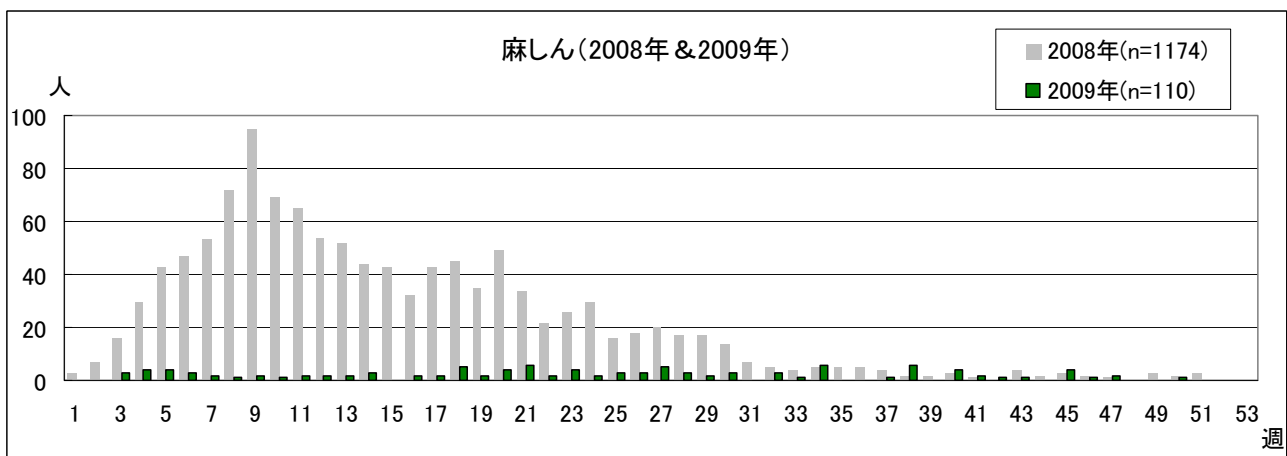
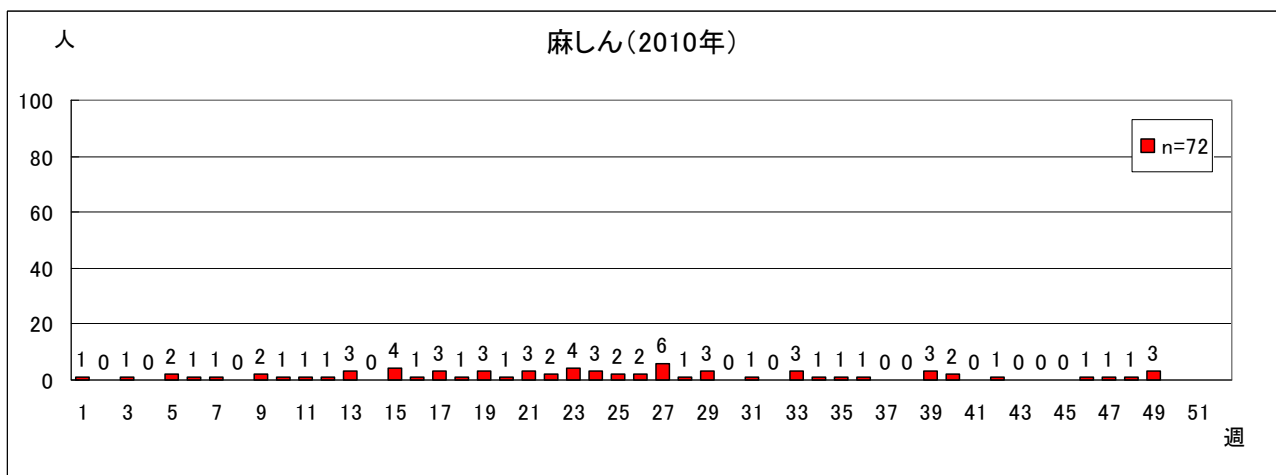


◆ 基幹定点





**全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年49週現在**



## 定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関するコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
千代田	記載なし	記載なし	会社内で3人発症
台東区	3		9歳児と40代の親子
	4		
	3		
江東区	1		
品川区	1		
	5		
	4		
	1		
目黒区	2		
	1		
大田区	8		
	3		
世田谷	1		40代成人
渋谷区	1		
	1		
中野区	2		
	3		
	2		
杉並		1	
	1		
池袋	2		
北区	2		
	4		
板橋区	1		
西多摩	9	1	2歳児、インフルエンザB(集団生活なし)。他全てインフルエンザA。
	6		
南多摩	1		
	1		
多摩立川	2		
		1	
	1		

## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
9/30	急性咽頭炎	7	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌 感受性は①参照	菌型 薬剤感受性
10/12	急性咽頭炎	2	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-13型) 感受性は②参照	菌型 薬剤感受性
10/14	急性咽頭炎	3	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-13型) 感受性は③参照	菌型 薬剤感受性
11/13	感染性胃腸炎	3	糞便	アデノウイルス、ノロウイルス(G I)	遺伝子
11/13	感染性胃腸炎	3	糞便	ノロウイルス(G II)	
11/14	急性咽頭炎	10	菌株 (咽頭拭い液由来)	A群溶血性レンサ球菌(T-3型) 感受性は④参照	菌型 薬剤感受性
11/15	不明発しん症	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
11/19	感染性胃腸炎	1	糞便	エンテロウイルス、ノロウイルス(G II)	
11/24	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス(G II)	
11/24	感染性胃腸炎	2	糞便	ノロウイルス(G II)	
11/24	感染性胃腸炎	5	糞便	ライノウイルス、ノロウイルス(G II)	
11/24	クループ	8M	糞便	RSウイルス	
11/24	咽頭炎	8	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/25	感染性胃腸炎	3	糞便	ノロウイルス(G II)	
11/25	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス(G II)、アデノウイルス	
11/25	ウイルス感染症	3	糞便	アデノウイルス	
			咽頭拭い液		
11/26	感染性胃腸炎	5	糞便	ノロウイルス(G II)	
11/26	気管支喘息	6	咽頭拭い液	ライノウイルス	
			糞便	ライノウイルス、ノロウイルス(G II)	
11/26	肺炎	4	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/26	ウイルス性細気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、RSウイルス	
11/26	感染性胃腸炎	9M	直腸拭い液	ノロウイルス(G II)、エンテロウイルス	
11/26	不明熱	7	鼻汁	エンテロウイルス	
11/27	手足口病	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/27	手足口病	6	咽頭拭い液	ライノウイルス	
11/29	クループ症候群・肺炎	9	咽頭拭い液	マイコプラズマ・ニューモニア	
11/29	手足口病	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス、EBウイルス	
11/29	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
11/29	上気道炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/29	感染性胃腸炎	11M	直腸拭い液	ノロウイルス(G II)	
11/29	急性気管支炎	記載無し	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/29	急性咽頭炎・頸部リンパ節炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス、EBウイルス	
11/29	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/30	小児喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
11/30	無菌性髄膜炎	27	髄液	エンテロウイルス	
11/30	急性咽頭炎・気管支炎	10	咽頭拭い液	アデノウイルス	
11/30	急性胃腸炎	7M	直腸拭い液	エンテロウイルス、ノロウイルス(GII)	
11/30	急性胃腸炎	1	直腸拭い液	ノロウイルス(GII)	
12/1	肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/2	胃腸炎	10M	糞便	ノロウイルス(GII)	
12/2	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、パルボウイルス ヒトヘルペスウイルス6型	
12/2	急性胃腸炎	10M	糞便	ノロウイルス(GII)	
12/3	蕁麻疹	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
12/3	手足口病	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
12/3	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
12/3	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス、アデノウイルス	
記載なし	ウイルス性細気管支炎	記載無し	咽頭拭い液	RSウイルス	

薬剤感受性検査結果：A群溶血性レンサ球菌

参照番号	ABPC	CEX	CDTR	CFDN	TC	CP	EM	CAM	CLDM
	アンピシリン	セファレキシン	セフジトレン	セフジニル	テトラサイクリン	クロラムフェニコール	エリスロマイシン	クラリスロマイシン	クリンダマイシン
①	s	s	s	s	R	s	R	R	R
②	s	s	s	s	s	s	s	s	s
③	s	s	s	s	s	s	s	s	s
④	s	s	s	s	s	s	s	s	s

s:感性(感受性), I:中等度, R:耐性

◇積極的疫学調査による搬入検体

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/6	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	89	菌株 (IVHカテーテル由来)	<i>Enterococcus faecium</i> (vanB遺伝子保有)	同定 遺伝子
11/27 ※1	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	70	菌株 (全血由来)	<i>Enterococcus casseliflavus</i> (vanC2遺伝子保有)	同定 遺伝子
11/29 ※2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	88	菌株 (血液由来)	B群溶血性レンサ球菌 (血清型: II型)	同定 菌型

※1：48週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

※2：48週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型*)
48週	0	5	0	1
2010-2011年 シーズン累計**	0	31	3	8

\*：新型インフルエンザ(pandemic H1N1 2009)。

\*\*：2010-2011シーズンの開始は第36週(2010年9月6日～9月12日)。



病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週
ウイルス	アデノウイルス		1	3	2	10	12	9	12
	ライノウイルス	5		2	8	10	3	5	4
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	8	6	11	3	3	4	2	10
	単純ヘルペスウイルス					1	1		
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	1	5	2	2	2	3		3
	EBウイルス	2	4	1	1				2
	サイトメガロウイルス				1		2		
	ムンプスウイルス		1	3	1				
	麻疹ウイルス								
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19		2	2	1		1		1
	RSウイルス	3	2	5	3	7	2	4	8
	ノロウイルス	1	1	3		2		4	16
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
インフルエンザウイルスAH3		4	2	3	8	3	3	5	
インフルエンザウイルスB						2			
新型インフルエンザウイルスAH1pdm			1		2	1	1	1	
デングウイルス(抗体を含む)					3				
その他のウイルス							1		
細菌	カンピロバクター	1							
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌							1	4
	百日咳		3	1		2	4	4	
	マイコプラズマ			2	3		1		1
	その他の細菌		1	2		3	1	3	
その他の病原体						1			

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年41週～2010年48週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	46	42	119	45	21	6	11		6	8	22	5					89	
ウイルス	アデノウイルス	1	11	13	2	4	4				6						8	
	ライノウイルス		4	17	7					1	1	2	1				4	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	6	7	11	6	5				4		3					5	
	単純ヘルペスウイルス		1					1										
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7			1							1	10						6
	EBウイルス		1			1				1			3					4
	サイトメガロウイルス											3						
	ムンプスウイルス					2							3					
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19										4	3						
	RSウイルス		5	26						1								2
	ノロウイルス			1	25													1
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	28																	
インフルエンザウイルスB	2																	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	6																	
デングウイルス(抗体を含む)																	3	
その他のウイルス																	1	
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		5															
	百日咳		1	10													3	
	マイコプラズマ			5													2	
	その他の細菌			8													2	
その他の病原体			1															